

芦北町議会だより



うたせ

第40号

平成27年
2月3日発行



1月11日(日) 芦北町成人式 (新成人 192人)

- 12月定例議会 …………… P 2
- 補正予算の主な事業 …………… P 3
- 議案の審議結果 …………… P 4
- 一般質問 …………… P 5～7
- 議員視察研修報告 …………… P 8
- 町村議会広報研修報告・
広報特別委員会視察研修報告 …… P 9
- 議会のうごき・編集後記 …………… P 10



12月定例議会



12月定例議会は、12月9日に招集され、12日までの4日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成26年度一般会計補正予算ほか、特別会計補正予算5件、水道事業会計補正予算、条例の制定及び一部改正6件で、いずれも審議の結果、原案のとおり全会一致で可決した。

芦北町教育委員会委員の任命2件については、全会一致で同意した。

また、人権擁護委員の推薦につき意見を求める諮問2件についても全会一致で適任と認めた。

一般質問には、3議員が登壇し、町執行部の考えをただした。

主な質疑

芦北町総合計画(第二次)に対する質疑

質 新たな時代の変化に対応するために、まち・ひと・しごと総合戦略策定の取り組み、これにシフトする考えはないか。

答 これはまだ、具体的にどのように展開していくかということは、衆議院選挙が終わって国・県が具体化していく段階で町もそれに取り組んでいきたい。

質 町長の思い入れというか、10年を見越したまちづくりに対しての目玉というか、そういう事をこの字句で表現する以外に少しお聞かせいただきたい。

答 すべてが目玉である。筆頭の基本理念として、子どもたちのためにといいことを守ってきたところである。

質 産業が一番目に来ているようであるが、そのことについて、町長はどのような判断をされたのか。

答 これは優先順位を並べたわけではなく、その時々々の社会経済情勢の変化に応じて、今その時何が必要かということを的確に捕らえながら、今後判断していきたい。

〔人事〕

教育委員会委員の任命に同意



竹浦 裕道氏
(田 浦)



吉田 典博氏
(八 幡)

人権擁護委員に推薦



濱田 辰喜氏
(井 牟 田)



湯野 一之氏
(立 川)

補正予算を可決

一般会計、特別会計等を併せて

9,015万円追加

会 計 名		補正額(増額)	補正後の総額
一	般 会 計	8,445万円	101億4,677万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	101万円	35億5,838万円
	介 護 保 険 事 業	172万円	20億8,560万円
	簡 易 水 道 事 業	46万円	7,366万円
	生 活 排 水 処 理 事 業	14万円	5,614万円
	町 有 温 泉 事 業	98万円	9,965万円
公 営 企 業 会 計 (水 道 事 業)		139万円	3億677万円
合 計		9,015万円	163億2,697万円

◆補正予算の主な事業（一般会計）

- マイナンバー制度導入事業……………258万円
- 海岸漂着物地域対策推進事業……………416万円
- 自立支援医療費扶助費……………796万円
- 子育て世帯臨時特別給付金……………67万円
- 農業経営の法人化等支援事業補助金……………40万円
- 中山間地域等直接支払交付金……………167万円
- 道の駅急速充電器設置工事……………1,173万円
- 御立岬温泉センター施設修繕料……………223万円
- 御立岬公園施設修繕料……………178万円

平成26年 第6回芦北町議会定例会 (抜粋)

区 分	議 案	内 容	審議結果
承認第8号	平成26年度芦北町一般会計補正予算(第5号)	地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し、承認を求める。	原案可決
議案第57号	平成26年度芦北町一般会計補正予算(第6号)	既定の予算に8,445万円追加し、総額を101億4,677万円とする。	原案可決
議案第58号	平成26年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	既定の予算に101万円追加し、総額を35億5,838万円とする。	原案可決
議題第59号	平成26年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	既定の予算に172万円追加し、総額を20億8,560万円とする。	原案可決
議題第60号	平成26年度芦北町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	既定の予算に46万円追加し、総額を7,366万円とする。	原案可決
議案第61号	平成26年度芦北町生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	既定の予算に14万円追加し、総額を5,614万円とする。	原案可決
議案第62号	平成26年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算(第2号)	既定の予算に98万円追加し、総額を9,965万円とする。	原案可決
議案第63号	平成26年度芦北町水道事業会計補正予算(第1号)	既定の予算に139万円追加し、総額を3億677万円とする。	原案可決
議案第68号	芦北町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康保険法施行令等の一部改正に伴い条例を改正する必要があるため条例を改正する。	原案可決
議案第69号	芦北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴い条例を改正する。	原案可決
議案第70号	芦北町総合計画(第二次)を定めることについて	芦北町総合計画に係る基本構想及び基本計画を策定するときは、芦北町総合計画策定条例第4条第1項の規定に基づき議会の議決を経る必要がある。	原案可決
同意第3号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任期満了に伴い、竹浦裕道氏(再任)を教育委員会委員に任命する。	原案同意
同意第4号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	前任者の後任として、吉田典博氏(新)を教育委員会委員に任命する。	原案同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	任期満了に伴い、濱田辰喜氏(再任)を人権擁護委員に推薦する。	原案適任
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	前任者の後任として、湯野一之氏(新)を人権擁護委員に推薦する。	原案適任



坂本議員

戦没者慰霊塔の統一は！

質 湯浦慰霊塔、田浦慰霊塔をみかけ公園内の慰霊碑に統一する計画があると聞くと、その内容と推移及び今後の計画はどうなっているか。

答 町長

慰霊碑の建設については、5地区の遺族会がみかけ公園にある慰霊碑へ合祀する方向で合意にいたり、町に対して新たな陳情書が出されたところである。

戦没者の追悼と恒久平和への思いを次の世代に引き継いでいくことを目的として町が事業主体になって取り組むこととした。

答 福祉課長

碑の建立については、平成27年度が戦後70周年、新町台併10周年にあたることから、記念事業として取り組む計画である。

質 田浦慰霊塔のある場所の状況は荒れ果てている。土地の管理責任はどこか。

答 福祉課長

慰霊塔が建立されている敷地は町有地であり、通常の管理は田浦戦没者遺族会の協力

もいただきながら、町が行っている。

質 田浦慰霊塔周辺の住民は土砂災害を心配している。防災上の安全が確保されているのか。

答 福祉課長

町道側の慰霊塔敷地の法面には災害防止のためのコンクリート擁壁及びブロック積み・落石防護柵が設置しており、現在の防護柵への崩土状況を見る限り、防災上の安全は確保してあると考えている。

粗大ごみの収集及びごみ袋の種類は

質 年に何回か決めて集落内のごみステーションに集めた粗大ごみを町が収集できるように、具体的な対応を考えてもらいたい。

答 住民生活課長

来年度からモデル的に、まずは高齢化率の高い過疎山間地域の一部を対象地域として、粗大ごみの中でも現在持ち込みが無料化されている布団、じゅうたん等について、年に1、2回、現地で収集で

きる回収システムにより実施したい。

質 ビン類の袋、生ごみ用の袋を小さい袋にしてほしいと要望がある。小さい袋の種類を増やす考えはないか。

答 住民生活課長

来年度からビン類等を対象とした資源不燃袋を現在の容量30ℓ袋に、資源不燃の小容量10ℓを追加し、2種類で対応したいと考えている。また、生ごみ袋については、現在、生ごみ大10ℓ、生ごみ小5ℓの2種類があり、これで対応できると考えている。

町の人口減少対策は

質 芦北町の人口は、平成18年から25年までの7年間で年平均295人のペースで減り続けている。今後の芦北町の人口の推移はどうなるのか、町の予測を年度別にお願したい。

答 企画財政課長

国勢調査をもとにした国立社会保障人口問題研究所の将来推計によると、2020年で16,428人

2030年で13,704人
2040年で11,268人
との推計が発表されている。

質 人口減少を食い止めるためには、一人の女性が一生のうちで産む子どもの平均人数を示す合計特殊出生率は2.07が必要とされている。町の平成25年度の出生数及び出生率はどうなっているか。

答 住民生活課長

町の平成25年度出生数は127人で合計特殊出生率は1.77801である。

質 人口減少統括部署をつくり、執行部の役職と全職員、議会はもとより、全町民挙げての取り組みが必要と思う。町の人口減少対策問題について、町長の見解はいかがか。

答 町長

本町では少子化対策や定住促進対策など、様々な各種事業に取り組んでいるところである。今後の国の地方創生政策の動向を踏まえて、これまでの取り組みを継続しながら施策内容の熟度を高め、各般にわたる施策の適正化を図っていききたい。

一般質問 (抜粋)



寺本議員

旧国民年金健康保養センターの今後の活用を問う！

質 当施設は年金受給者の福祉の向上はもとより、芦北町の観光拠点として重要な役割を果たしてきた。引き渡されてから7年余の歳月が経っており、早急な対応が求められるが、今後の対応は。

答 町長

平成17年1月の閉鎖以来、宿泊施設の誘致を主眼として多方面にわたる誘致活動を行って来たが、残念ながら、現段階では誘致にいたっていない。

このような中、今回新たに国道3号沿いに、ビジネスホテルの進出が正式決定し、来年4月のオープンを目指し、工事が進められており、長年の懸案であったビジネス需要に即応できる施設として期待している。

質 施設が閉鎖されてから9年余が経つが、歳月が経過することにより、改修費用が高む等々の問題があると思うがどう考えているか。

答 町長

閉館から10年を迎え、内部損傷などが進んでいる状況である。

また、県立公園内に未利用建物として長く存在していることから、景観上の阻害要因、風致上の問題も内在していると理解している。

このような状況を考慮し、ビジネスホテルの進出を契機とし、旧国民年金健康保養センターの施設を活用したホテル誘致は白紙化することとし、解体を含めて今後の方策を検討したい。



旧国民年金健康保養センター

質 庁舎内にプロジェクトチームを立ち上げ、より良い方向に持っていくとの答弁があつているが、その後どうなつたのか。

答 商工観光課長

庁内で町三役をはじめ、関係6課長による検討を行い、当該施設へのホテル誘致を推進し、必要に応じて協議を開催してきた。

また、平成23年度から平成25年度の間は東京都の設計会社など2社とリゾート地としての活用を検討するため、土地利用計画に関する覚書を交わし利用計画図や計画模型の製作を行い、企業へのアプローチなど行ったが、資金調達面や運営事業者の確保の目的を達成することができず、現在にいたっている。

質 何回ぐらい協議し、どのような内容で、どのような結論に達したのか。

答 商工観光課長

平成20年7月に第1回目を開催し、その後必要に応じ開催している。内容は、ホテル誘致の方向性、周辺整備、町の支援、全体スケジュール等

について検討した。

質 何件の業者から希望があつたのか。

答 町長

(株)ヒューマンボンド、(株)K&Y石川代表、川越東武ホテル藤本総支配人、サンホテル、グリーンホテル、藤岡弘氏、(株)十兵衛、生駒名水(株)、福岡医師会、(社)日医支援機構、(株)立山、熊本テルサ館長等である。

質 どのような理由で成就できなかったのか。

答 商工観光課長

バブル崩壊後の景気低迷、それに伴う民間会社等の大規模な設備投資への慎重な姿勢の広がりと思っている。

質 企業と町で組織を立ち上げるという、もう一つの選択肢はなかつたのか。

答 町長

町独自、第三セクターという意見は当然出てきた。しかし、経営のノウハウとか専門的な分野になるし、むしろ優良企業を招いた方がいいというところで検討した。

一般質問 (抜粋)



川尻議員

町発注工事の 予定価格アップを！

公共工事における設計労務単価が全国で、平成25年度16・1%、平成26年2月更に7・1%アップしている。

質 本町の設計労務単価はどうしているか。また、本町の予定価格の積算は国の定めた基準単価を参考にしているか。

答 建設課長
設計労務単価は、県内共通単価を採用している。

答 総務課長
予定価格は、県内共通労務単価をもとに設計された設計額を参考にしている。

質 発注者として工事の適正価格をどう認識しているか。

答 総務課長
適正であると認識している。

質 今の建設業界の状況をどう思われるか。適正価格ということはどういう認識か。

答 町長
今は、建設業組合から正式に要望はあがっていない。社

会情勢をかんがみ反映させるべきと思う。

質 建設工事の予定価格について副町長の考えはないか。

答 副町長
最近、国交省から法に基づき、適正な予定価格を定めるよう通達が来ているので、今後そういう点も踏まえて適正な予定価格を決めていきたいと思っている。

「二世帯近居」家族への 支援策の考えはないか

子育て世帯と祖父母世帯が近くに住み助け合う「近居」を後押しする自治体が増えている。

質 住宅購入費や転居費用の一部助成等の考えはないか。

答 福祉課長

都市部では助成する自治体はあるが県内では取り組みがない。また、ニーズ調査でも要望はなく、近居に対して新たに助成する考えはない。

質 住宅助成の新たな取り組みという事でいかがか。

答 町長

「近居」とは、国交省の資料によると、車・電車で1時間以内に住んでいることである。事業の取り組みには検討を要する気がするが、今後の研究課題としたい。

質 国が定める次世代育成支援策促進法に基づく芦北町次世代育成支援行動計画が本年度で期限切れとなる。新たに作成する「子ども・子育て支援計画」に助成策を盛り込む考えはないか。

答 福祉課長

国が定める「子ども・子育て支援事業計画」策定に係る基本指針及び次期次世代の行動計画策定指針の中に記載事項として示されていないことから、今のところ計画に盛り込むことは考えていない。

土砂災害警戒区域の調査と周知はどうする

質 広島市北部で発生した土砂災害を教訓に、土砂災害警戒区域の指定を促進する改正土砂災害防止法が成立した。本町でも独自に調査し、早急に町民に周知すべきではないか。

答 町長

土砂災害防止法に基づく警戒区域の指定は、既に497か所が指定され、町民に周知している。未調査箇所は、調査主体である県に早急な調査をお願いしていきたい。

答 総務課長

各戸に配布した防災マップ、ホームページ等で周知を図っている。

質 要支援者家族の把握もあると思うが、これが功を奏するのは、周知と災害を想定した訓練にあると考える。地域で自主的な訓練を計画する必要があると思うがどうか。

答 総務課長

防災訓練を年明け2月に予定している。

質 建設残土による土砂災害も予想されるが本町公有地、私有地等に建設残土の廃土処理の状況を把握して災害が起きないよう周知しているのか。

答 建設課長

民間のところは現地を見て確認したい。

議員視察研修報告

期日：平成26年10月22日～24日
場所：長野県南箕輪村、小川の庄、小布施町

【南箕輪村】

より活発な議会活動への取り組みとは何か。

平成の大合併で自立の道を選ばれたことは住民投票の結果を重視したものでした。

その結果、次のような活性化策を実行されておられます。

①平成16年9月定例会にて議員定数を16人から10人への削減を決定される。

②平成22年6月から村内の各種団体との懇談会を始める。同時に議会基本条例を制定。このような活動を行っておられます。その効果として、委員長会議などを設け、住民の意見を取り入れた政策提言などを議会の統一意見として行われたり、議員発議など活発に行われ、大変立派な活動です。ただこの良い状況の中にも、移住者が自治区に入らない、人口増に對比し10名の議員では対応出来ないなどの問題点も出ているようです。本町も子育ての支援は先進地であり他町には劣らないと思います。

議会の基本条例は、住民の代表と



南箕輪村での視察研修

して、良心と責任感を自覚するものである。制定へ向け取り組みながら、日常の活動の中で住民の声を傾けることに全力を挙げなければならぬと感じました。

【小川の庄】

地域を元気にする特産品はどんなものが出来るのか。

狭い山道を登り上がった時に観光客が押し寄せていました。この疑うような光景を目の当たりにしたとき考えました。

①立地現地に驚き、努力と発想があれば場所は選ばないと実感しました。

②昔ながらの郷土食「おやき」に着目、その商品に驚き、漬け物など多種多様の開発に対し最大限の戦略がうかがえました。

③年配者でも働ける環境づくりや地元産品の活用などの流通戦略に驚きました。

以上のことから、あえてインパクトをあたえ話題性をつくり、メディアを活用し知名度を上げるなど計算しつくされていると実感しました。

公的な資金をあてにせず、「小川の庄」を立ち上げられた人々の真剣に努力された姿に感動を覚えたと共に本町でも必ず実行できる良い事例であり、今後にも生かせる良い視察でした。

【小布施町】

人が訪れる観光地作りの基本は何か。

地の利、町の歴史、景観が根本的に本町とは大きく異なっていました。郷土、地元愛が強く、町民自ら美しい庭造りを実行されていました。

小ぢんまりとした中に歴史ある美しい町並みがあるため観光地としての基礎は確立されていたが、各企業が町の景観と調和した店舗を造るなど、郷土愛が見てとれました。

今回の視察では各地とも自ら行動し、自治体の補助金などに頼らない活動で成功を取っています。本町も各地区では知恵を出しながら全体では御立岬やうたせ船などを観光の核とし、食の特産品づくりに力を傾注すべきだと確信した視察でした。



小布施町での視察研修

町村議会広報研修報告

平成26年11月19日熊本県町村議長会の主催により、メルパルク熊本において、町村議会広報研修会が開催されました。主催者挨拶の後、第12回熊本県町村議会広報コンクールの表彰があり27町村応募の中から南阿蘇村、南関町、あさぎり町、菊陽町、御船町の5町村が入賞されました。

審査方法は3人の審査員が①内容②見やすさ③記事、見出しについて各10点をつけ、総計90点満点で評価されました。そのなかで今回の最高点は90点満点中72点との事であり、芦北町議会だより「うたせ」（審査対象うたせ第37号、第38号）の評価点は90点満点中59点との事で、入賞まであと一歩との事でありました。

表彰後、広報コンクール講評が熊本日日新聞社NIE専門委員、熊本大学客員教授の越地真一郎氏から行われました。共通の講評としては、
*住民目線がカギである。
*自己満足より読者の満足度を優先。

*紙面は議員個人のものではなく、議会全体のもの。



町村議会広報研修会(メルパルク熊本)

*写真説明が軽視されている。もっと丁寧に親しみやすく。
*聞きなれない議会用語を解説する。などがありました。
今後の広報活動に大変参考になった研修会でありました。

広報特別委員会視察研修報告

平成26年11月20日議会広報特別委員会の視察研修を実施しましたので、その結果を報告します。

視察研修地の佐賀県基山町は、鳥栖市に隣接し、佐賀県の玄関口と言われ交通の利便性もよく、面積22.12km²（芦北町の約10分の1）、人口17,593人（平成26年4月1日現在）予算規模約55億円（芦北町の約半分）の町でした。

広報委員会の編集体制は任期を2年と定められており議員任期4年の中で全員が広報委員を経験、担当できる体制でした。

議会だよりの予算も少なく（芦北町の約4分の1）表紙、裏面以外はカラー印刷ではなかったが、広報内容は、議会活動や町の動きが、事細かに町民目線で書かれており、レイアウトや字の大きさ等、かなり工夫され読みやすく大変参考になりました。

今回の視察研修で学んだ結果について、参考となった良いところは早速に取り入れる事としました。



視察研修(佐賀県基山町)

議会のうごき

- 10月 1日 水俣芦北広域行政事務組合議会
 22日 議員研修(長野県南箕輪村、小川の庄、小布施町)(~24日)
 27日 南九州西回り自動車道の早期実現に関する要望活動(博多)
 29日 京都府久御山町議会視察研修来町
 30日 熊本県町村議会議長会理事会議(熊本市)
- 11月 6日 熊本県町村議会議長会議員研修会(益城町)
 12日 第58回町村議会議長全国大会(東京)
 14日 水俣・芦北地域振興推進協議会後期要望活動(東京)
 19日 南九州西回り自動車道建設促進大会(東京)
 21日 第2回熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会(熊本市)
- 12月 3日 議会運営委員会
 議会全員協議会
 9日 定例会(議案審議)
 文教厚生常任委員会
 12日 定例会(一般質問)
 広報特別委員会
 24日 水俣芦北広域行政事務組合議会
 25日 熊本県町村議会議長会理事会議(熊本市)

くみやま 久御山町議会視察来町



10月29日に京都府久御山町議会総務事業常任委員会の皆さんが行政視察のため訪問され、議会から寺本議長が、町から藤崎副町長が出席し対応しました。

今回の視察は、本町の「まちづくり支援事業」についての研修で、DVDによる町紹介の後、企画財政課の担当職員からパワーポイント(説明用のスクリーン)を使って説明を行いました。

説明後は、熱心に質疑が行われました。

次回の議会は3月上旬の予定です。

議会広報特別委員会

委員	副委員長	委員
宮内 道則	平松 洋一	宮尾 秀行
前田 徹一	前田 徹一	前田 徹一
白坂 康浩	白坂 康浩	白坂 康浩
荒川 知章	荒川 知章	荒川 知章

大相撲芦北場所が、11月30日、しろやますカイドームにおいて、芦北町合併10周年記念事業の一環として、本町で初めて開催されました。

全国的に相撲人気は急上昇している中、早朝より地元相撲クラブの子供達のぶつかり稽古に始まり、町内外から集まったおよそ3,400人は、横綱白鵬をはじめ人気力士が目の前で見られました。また、本場所さながらの取り組みであったため会場は大いに盛り上がりました。

芦北場所実行委員会など主催者の皆様方の並々ならぬ努力によって開催された事に感謝し、大相撲芦北場所が、今後も是非開催される事を期待します。

(前田)

編集後記

